

元気塾 塾生募集



私の防災準備講座 (全4回)

ひとごと
他人事ではない、
いつかくる！自然災害。

いつかくる！自然災害に備えて
私にできる、私たちにできる防災準備講座を開講します！

異変や異常に直面しても「自分だけは大丈夫」と思い込んでしまう私たち。その思い込みはどこからくるのでしょうか。一昨年の熊本地震、昨年7月の九州北部豪雨による朝倉水害、そして平成30年7月豪雨。もう他人事ではありません。実際に被災をされた方や、長年、災害支援や地域の防災体制づくりに取り組んでいる方々を講師に、地域の仲間と共に学び、直面する防災に活かせるよう工夫した講座内容です。

10/28(日)
開講！

元気塾開講期間の平日、市内の福岡県消防学校体験会予定♪
塾生限定ツアー

会場

夢サイトかほ文化ホール

嘉麻市大隈町1228-1 TEL (0948)57-0080

参加
無料

手話通訳
あり

託児
あり
(無料)

対象者

元気塾生…地域での防災に関心のある女性
20名～30名程度

※公開講座に付いては、一般市民(男性も含む)も受講可能

★要予約 ※各講座の10日前
までにご予約ください

★5名程度

- この事業は、福岡県が(公財)福岡県女性財団(福岡県男女共同参画センター「あすばる」)に委託して実施している「女性による元気な地域づくり応援講座事業」=元気塾です。
- 主催:「みんな(男女)でできる防災」実行委員会(かま男女共同参画推進ネットワーク/行政区長/嘉麻市)
- 共催:福岡県男女共同参画センター「あすばる」
- 問合せ:TEL 0948-53-1120(嘉麻市男女共同参画推進課)

講座の内容
申し込みは
裏面をご覧ください

かま元気塾講座スケジュール

開催月日	時間	内容
1 10/28 (日) 公開講座	13:00 ～ 14:00 ～ 16:30頃	開講式 「防災と男女共同参画」 男女で異なる被災経験と支援の在り方をわかりやすく説明。
2 11/24 (土) 1部 公開講座 2部 塾生限定	1部 13:00 ～ 14:00 2部 14:30 ～ 16:15頃	「主役はわたしたち ～避難所からのコミュニティ形成～」 「普段の生活のなかで出来ないことは、災害という非常時には、なおさら出来ない」、「自分たちのまちは自分たちでつくり上げていく」というお話。 「子どもを災害から守るために」 グループワークを通して「防災に絶対的な正解はない。定期的に防災意識を持ち続け、状況に応じた対策の大切さ」を体感する。
3 12/8 (土) 1部 公開講座 2部 塾生限定	1部 13:00 ～ 14:30 2部 14:45 ～ 17:00頃	「被災地、被災者として」 昨年7月の九州北部豪雨により、愛する地域でご自身も被災。実践に裏打ちされた説得力あるパワフルなお話しは、元気をもらえると嘉麻市では人気が高く、今回は、「朝倉災害母子支援センターきずな」設立経緯にも触れた内容。 「HUG 体験（避難所図上訓練）」 ※HUG ハグとはH=避難所、U=運営、G=ゲーム HUGは避難所の運営を模擬体験するため、静岡県が2007年（平成19年）に開発したゲーム。英語で「抱きしめる」という意味になり避難者を優しく受け入れる避難所のイメージと重ね合わせて名づけられ、講座では、避難所運営を模擬体験する。
4 2019年 1/19 (土) 塾生限定	13:00 ～ 13:40 ～ 16:40 16:45 ～ 17:00頃	「嘉麻市防災対策課講義」 「フォローアップ講座」 今回のかま元気塾のタイトル「他人事ではない、いつくる！自然災害。わたしの防災準備講座」の総仕上げ。かま元気塾の一連の公開講座、塾生限定講座をグループワークでふりかえり、今後に活かし、つなげるためにわたしや仲間と一緒にできる防災準備のアイデアを話し合う。 修了式

講師: 池田 恵子さん

静岡大学教授
減災と男女共同参画研修推進センター共同代表
2014年「かま男女共同参画推進ネットワーク」主催のかま～んフェスタにて「みんな（男女）で担う防災」をテーマに講演。その後の嘉麻市の防災体制にも関心を寄せている。



講師: 吉村 静代さん

NPO法人益城だいすきプロジェクト・きまに代表理事
熊本県益城町仮設団地自治連合会代表
2016年（平成28年）熊本地震の際に被災し避難所運営の陣頭指揮をとる。



講師: 佐藤 倫子さん

ママのための防災会議inいとしま代表
東日本大震災をきっかけに糸島市の防災行政に地域の母親や妊婦などで「ママのための防災会議inいとしま」を結成。行政の取り組みや防災の知識を深め「糸島で暮らすママのための防災ハンドブック」にまとめ発行。



講師: 中嶋 玲子さん

福岡県男女共同参画審議会委員
元杷木町長
福岡県朝倉市杷木在住。杷木町町議会議員・町長を歴任し、平成17年から福岡県男女共同参画センター「あすばる」館長に就任。平成24年に退任後は、講演活動のほか各種団体の理事などを務める。



講師: 倉富 史枝さん

NPO法人福岡ジェンダー研究所 理事
福岡ジェンダー研究所は、一人ひとり女も男も 子どもも大人も それぞれの個性と能力を発揮して生き生きと輝く社会 そんな明日をめざして活動している団体。倉富さんは嘉麻市の第2次男女共同参画社会基本計画等に関わっている。



元気塾 FAX 申し込み用紙

FAX 0948-52-2766

★ご記入頂いた情報は、当講座運営目的でのみ使用します。 ※は必須

●ふりがな氏名※ ●年代 () ●性別 ()

●住所※ ●託児希望 (有 ・ 無)

●連絡先電話番号※ ●所属団体

●参加希望に○をつけて下さい

	11/24 (土)	12/8 (土)
10/28 (日)	1部	1部
	2部	2部

その他の
申込先

TEL 0948-53-1120

MAIL danjo@city.kama.lg.jp

★必須項目を記入の上送信下さい。

このインパクトあるチラシは、
嘉麻市出身で在住のイラストレーター
「まるやま ももこ」さんに、若い彼女
自身が参加したくなるようなチラシの作
成をお願いしました。



あまりの出来映えにチラシだけではもったいない！！と

(嘉麻市役所 碓井庁舎2F)

地域活性推進課の協力により、

「男女共同参画推進課 掲示板」を設置！



(嘉麻市役所 碓井庁舎2F)
 「私の防災準備講座」ポスター」コーナーまで
 新設しました！



「ポスター・チラシ・冊子等」



- ◆防災をテーマに元気塾を開催するにあたり、「まずは行政から！」と、職員研修会を開催。

「防災分野への女性参画の推進 (女性の命を守るために)」

開催日：平成30年8月9日(木)

講師：吉田 英紀さん

飯塚市防災危機管理監

内閣府地域防災マネージャー

嘉麻市男女共同参画推進課、始まって以来の盛況ぶり！参加者が多く、追加で資料印刷したり、イスを出したり。

受講後のアンケートでも「平常時の準備がいかに大切か、男女共同参画の重要さがわかった」と女性視点の防災対策について、これほど深く考えたことがなく、防災は防災対策課まかせではなく、全庁体制でと感じた職員が多かったようです。

「防災及び男女共同参画」職員研修会

開催日：平成30年8月9日（木）

講師：吉田 英紀さん
飯塚市防災危機管理監
内閣府地域防災マネージャー



若手イラストレーター、行政を巻き込んでの
「かま元気塾」みんな（男女）でできる防災
実行委員会結成のいきさつとは？

あの線状降水帯が、嘉穂アルプスにかかっていたら!!

【かなとこ雲の写真】



【嘉穂アルプス】



嘉穂アルプスとは、嘉穂三山で、
馬見山・屏山・古処山を言います。

※2016年度日本山岳遺産に認定

山ひとつへだてた東峰村、朝倉市を襲った九州北部豪雨は地域や人のつながりをも変える甚大な災害をもたらしました。

そこで、防災について学習を重ねていたかま男女共同参画推進ネットワークは行政（防災対策課・男女共同参画推進課）に働きかけ、地域の行政区長（町内会長）に呼びかけ、女性の区長2名が参画して、みんな（男女）のできる防災実行委員会が結成されました。

今回の基調講演となる静岡大学の池田恵子さんの講義「みんな（男女）の力で災害に備える。命を守る」はまさに今回のテーマとなるもので、講義の合間に「あなたならどうしますか？」の問いに、前後左右の人たちと話し合いをして、それぞれの対応を出し合い他のグループの意思をきいて、また参考になることがわかりました。



当初予定していた、9/30の開講式は台風接近により、10/28に延期しました。

その延期の手順も、防災対策課長を交えて緊急実行委員会で決定し、「時機を見過ぎさない、瞬時の判断力、合意形成力が必要」と延期を決定する際に多くの学び得ることができました。

開会式では、あすばる館長、県議、市議、消防団副団長と来賓の方にお集りいただき激励されました。



まず防災対策課長より嘉麻市の防災情報を講義していただきました。



11月24日 第2回かま元気塾

NPO法人益城だいすきプロジェクト・きままに
代表理事 吉村静代さん

「主役はわたしたち

～避難所からのコミュニティ形成～」

◆安らげる安心した空間づくりの避難所運営には、女性の主体的な参画の必要性が重要とお話ししていただきました。

◆できる人が、できることを、できたしこ



塾生限定の講座では

講師：ママのための防災準備会議 in
いとしま代表の佐藤倫子さん

「子どもを災害から守るために」をテーマ
にグループでアイデアを出し合いました。



12月8日、第3回かま元気塾

公開講座では

元あすばる館長 中嶋玲子さん

「被災地、被災者として」

— 昨年九州北部豪雨を自らが被災して、災害から見えてきた課題を講義してくださいました。



塾生限定（2部）

NPO法人福岡ジェンダー研究所

倉富史枝さんを講師に「HUG避難所運営ゲーム」を実施しました。

アンケートからは「実際に避難所を運営している気分を味わった。あらかじめ体験する必要がある。」図上とはいっても、突然の避難所設営。次々と読み上げられるカード、瞬時に判断し、グループで限られた時間内に協議していく・・・

女性の主体的な参画が自分の居心地のより避難所に繋がっていくのではと思いをめぐらせました。



1月19日 第4回かま元気塾、最終回

まず防災対策課長より

「私の防災準備講座」の講義。

行政の力には限界があることを前提に話され、公助の限界と自助・共助の促進・啓発が重要となることから「地域の力を育てよう」。

そして連続講座の集大成として、フォローアップ講座で、講師の福岡ジェンダー研究所理事 倉富史枝さんが宣言シートを使って各自に今後実行することを具体的に宣言するワークを行いました、「有言実行」！



【番外編】 12月16日 朝倉現地視察レポート

主催は「かま男女共同参画推進ネットワーク」が、かま元気塾生にも声をかけ、あさくら元気塾の母体である「風おこしの会」と交流



あさくら災害母子支援センター「きずな」で
設立経緯を学びました。



嘉麻市に女性議員
がいたら。。

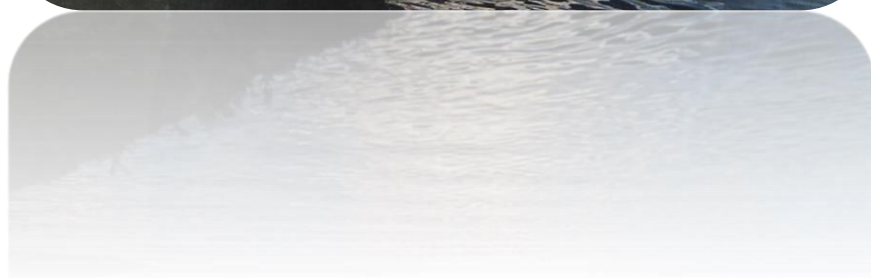
地元特産品購入
＝復興支援。

朝倉市東林田公民館で当時の生々しいお話を聴くことができました。

朝倉市ボランティア
連絡協議会
副会長 林 清一さん



九州北部豪雨時の空模様
「かなとこ雲」



ねじれた橋

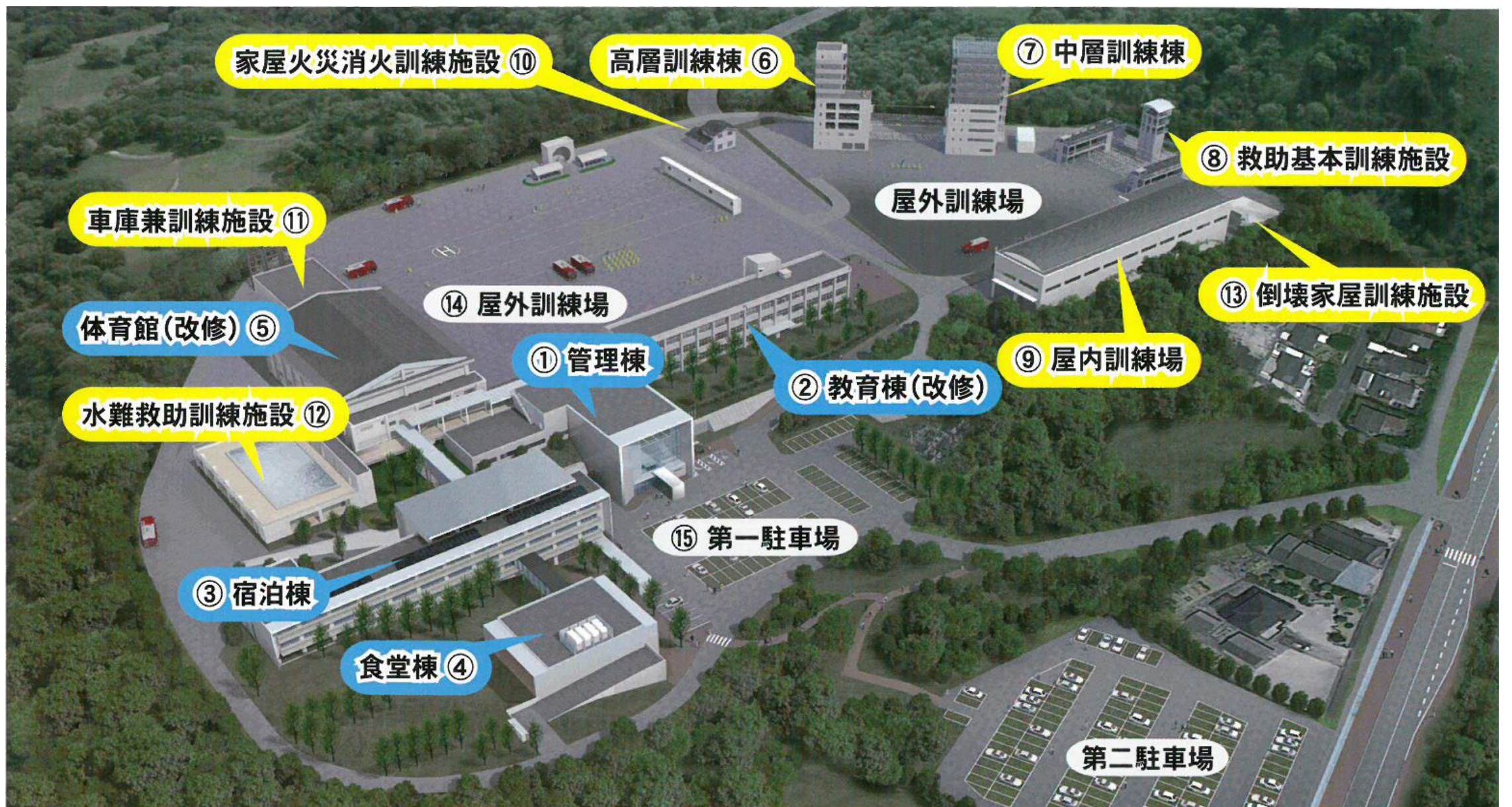


災害は家や道路、橋などを壊しただけでなく、地域や人間関係までも奪っていくことを、現地から学びました。その大変な過酷な状況の中、朝倉の女性たちは「人は様々な環境・状況に対しても適応し生き延びる力を持っています。」と話してくださいました。

「災害は人も地域も選びません。どこに居ようがそのリスクから逃れることは難しいでしょう。私たちができることは、一人ひとりが備えること（自助）、そして地域共同体の力をつけること（共助）ではないでしょうか。」と

（住みよい朝倉をめざす風おこし会だより）より

福岡県消防学校配置図



【H31年2月14日に塾生限定 消防学校体験ツアー開催】



- 「自分が助からないと人を助けることができない」
- 災害は忘れたころにやってくる
- 普段からの想定訓練
 - ・ 家庭内での緊急時の連絡方法
 - ・ 備蓄 など

塾生・受講生・実行委員のみなさん



この気持ちを忘れず
一步踏み出す勇気を
持ち続けます。